



No.267
2024.3.3

四季報

発行
藤沢探鳥クラブ
代表
藤山 素子
電話 0466-25-1817



藤沢で初めて?オオヒシクイの飛翔 (2023年11月30日 今田遊水地)

撮影: 太田 千佳子

<3月例会>

3月17日(日)

和田堀公園探鳥会

(平坦)

※雨天中止

桜の開花も間近なこの時期、杉並区善福寺川沿いに鳥たちとの出会いを求めてゆっくり歩きます。冬鳥の見納めになるでしょうか?

集合 小田急藤沢駅改札8:15集合 8:25快速急行新宿行最前車両乗車 下北沢駅下車 井の頭線乗り換え永福町駅北口下車 交番あり→徒歩

持ち物 観察用具、お弁当、飲み物、敷物

解散 13:30頃公園終点地(近くに吉祥寺行きバス停あり)

担当・問い合わせ

藤山 0466-25-1817 谷 0466-34-0381

<4月例会>

4月21日(日)

真鶴半島探鳥会

(ゆるやかな坂、階段有り)

※雨天中止

真鶴半島は7年ぶりでしょうか、真鶴駅から徒歩で真鶴港を通過して、半島の先端の“魚付き林”の林を散策した後、海岸に降りて三石海岸を歩き、山と海の両方の野鳥を楽しみましょう。

集合 JR藤沢駅改札口8:05、藤沢駅8:15発熱海行き最前車両乗車、9:03真鶴駅下車

持ち物 観察道具、お弁当、飲み物、雨具等

解散 現地にて13:30頃(参考 13:34ケーブル真鶴始発 真鶴駅行き伊豆箱根バス)

担当・問い合わせ

青山 0466-87-2489 嶋岡 0466-50-5816

川名通年探鳥会

1月7日(日) 8:05~10:50 晴れ

稲田 万佐代

新年の川名探鳥会は晴天に恵まれ賑やかにスタート。昨年、桜が伐採され驚いた公園ではジョウビタキと新年のご挨拶。川にはヒドリガモ、いつもの場所でイソヒヨドリやイソシギに出会うことが出来、うれしくなる。



ヒドリガモのカップル 撮影；秋山孝



イソヒヨドリの♂(左)と♀ 撮影；秋山孝

谷戸では葦？が所々刈られていたが、隠れる場所を残すために「虎刈り」にすると教わる。谷戸出口あたりでアオジが数羽、枝に邪

魔されながらもきれいな姿を確認。探鳥を始めて半年、これからもよろしくお願いします。



アオジ 水彩画；加藤健二

見聞きした鳥 トビ、アオサギ、ジョウビタキ、メジロ、オオバン、ヒドリガモ、ハクセキレイ、イソシギ、ヒヨドリ、カワウ、ユリカモメ、アオジ、ハシブトガラス、スズメ、イソヒヨドリ、ハシボソガラス、カルガモ、シジュウカラ、キジバト、ウグイス (20種)
外来種 ドバト (1種)

参加者 20名

2月3日(日) 雨のため中止

座間谷戸山公園・座間新田探鳥会

1月21日(日) 雨のため中止

表紙写真説明 藤沢で初めて？ オオヒシクイの飛翔

藤沢市今田遊水地 2023年11月30日撮影

国の天然記念物オオヒシクイ。シベリアから渡って来た冬鳥です。

全長90~100cmで、周りの水鳥に比べて大きく、飛翔姿は翼を広げると迫力がありました。藤沢でオオヒシクイを見る事は初めて？ というくらい大変珍しいとの事です。

太田 千佳子

葛西臨海公園探鳥会

2月18日(日) 9:45~13:00 晴れ

青山 喜行

2月とは思えない4月の陽気で、汗ばむ探鳥会となった。

汽水の“下の池”では鳥影が殆ど無かったが、海上では遠くにカンムリカイツブリ、スズガモ等の水鳥が多く見られ、改修中のウォッチングセンター横の淡水の“上ノ池”では、マガモ等のカモ類が多数見られた。

今日の一番はヒクイナが数m下で採食しており、写真撮り放題状態、周りの葦ではオオジュリンが採食中で、我々の昼食を忘れるほど楽しめた。



ヒクイナ 撮影；加藤健二



オオジュリン 撮影；太田千佳子

見聞きした鳥 スズメ、スズガモ、ヒヨドリ、シジュウカラ、オオタカ、オオジュリ

ン、ヒクイナ、ホシハジロ、カンムリカイツブリ、ウミアイサ、キンクロハジロ、マガモ、コゲラ、ヒドリガモ、ウグイス、ハシブトガラス、メジロ、トビ、コガモ、アオジ、オナガ、モズ、ムクドリ、ダイサギ、アオサギ、カワウ、ミサゴ、ハシビロガモ、ツグミ、カルガモ、ハクセキレイ、カイツブリ、ハジロカイツブリ、オカヨシガモ、キジバト、アオゲラ、オオバン (37種)

外来種 ドバト (1種)

参加者 15名

探鳥会後に見た鳥 13:30~15:00 8名

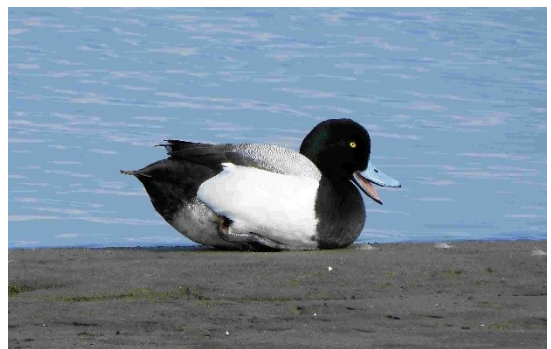
イソシギ、数メートル先ではハジロカイツブリ2羽が潜水を繰り返し沖海面では相当量のカンムリカイツブリ、スズガモの群団、沖海上では絶えまなく続く数千羽?のカワウの移動の列が圧巻でした。



ハジロカイツブリ
撮影；田中正信



カンムリカイツブリ
撮影；稲田久



スズガモ 撮影；稲田久

遠くのディズニーランドホテル群手前でクロツラヘラサギ5羽、ミヤコドリ1羽、その手前干潟?部分ではユリカモメの大群が見られました。(藤山素子)

江の島探鳥会

1月12日(金) 8:40~12:00 晴れ

谷 誠一

快晴で波も無い穏やかな海面、富士山は雪の少ない頂上から裾野伊豆半島の先端も見える素晴らしい景色。海鳥を探していると9:10ごろ辻堂方面から真っ黒な煙が立ち上り火事だとの話、何もできないので煙を見ていた。

岩屋に着いた頃急に強風になり、釣り場の岩の上まで波が来ている。龍恋の鐘では、シロハラ、ジョウビタキ、ハヤブサ等が見られ、防波堤の島では波しぶきに向かって、カワウ、ウミウが立ち上って踏ん張っている。波の引いた後をシギ sp が餌を啄んでいる。解散後火事の煙は見えませんでした。



シギ sp 撮影; 田中正信

見聞きした鳥 ハクセキレイ、ウミネコ、アオサギ、ヒヨドリ、カワウ、トビ、スズメ、キジバト、ハシボソガラス、メジロ、シロハラ、ジョウビタキ、ハヤブサ、セグロカモメ、ユリカモメ、ハシブトガラス、ウミウ、イソヒヨドリ、シジュウカラ、ウグイス、アオジ、カワラヒワ、オオバン、ヒドリガモ、カンムリカイツブリ、シギ sp (26種)

参加者 16名

写真判定 シギ sp は後日、日本野鳥の会神

奈川支部の方に依頼し、前年生まれたハマシギの幼鳥と同定されました。

2月9日(金) 8:35~11:50 快晴

谷 誠一

今日、江の島は津波訓練日で島内放送が「9:00から島民はヘルメットをかぶり高台に避難するよう。」放送が有りました。釣り人は避難訓練に協力をして帰り、釣り場には人が居ません。此処の釣り人は素晴らしいです。

島は日当たりが良く桜の蕾が真っ赤で、六、七分咲きの木が多く有ります。蟬梅が満開でした。ムクドリ2羽が巢用の草をくわえ屋根の上に止まっている。他の鳥も巣作りが始まる季節になりました。先月12日の暴風後ミヤコドリ、クロサギの姿が見えませんでした。カワウの中にウミウも確認されました。津波訓練も無事終了したようです。



ウミウ 撮影; 稲田久

見聞きした鳥 キジバト、ハヤブサ、トビ、カンムリカイツブリ、ユリカモメ、アオサギ、アオジ、ホシハジロ、ヒヨドリ、メジロ、シロハラ、ミサゴ、ジョウビタキ、スズメ、イ

ソヒヨドリ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ハシボソガラス、ミヤコドリ、カワウ、ウミウ、クロサギ、ハクセキレイ、ウグイス、カワラヒワ、ムクドリ、オオバン (27種)

参加者 15名

遠藤笹窪谷観察会

1月27日(土) 9:00~11:50 晴れ
谷 誠一

今日は、コロナ渦で4年ぶりにK大学の池にカモの観察に行きました。まずは遠藤笹窪



ツグミ 撮影；田中正信

谷公園でツグミ、シメ、カシラダカ他冬鳥、常駐のキセキレイ、ハクセキレイ、ヤマガラ、アオゲラ、畑には行かず大学の池へ直行途中でノスリ、ハイタカ猛禽類を確認。

池は大小で、ダルマさんの型をしています



マガモの群 撮影；田中正信

す。今日は小さい池に氷が張っていて大きい池にカモが集まっています。今回はカモの数が少なく驚きました。コガモとカルガモが1羽も居ません。マガモの中にオオバンが1羽、芝生は奇麗に手入れされています。帰りはコゲラ、メジロを見つけ楽しい時間でした。

見聞きした鳥 ツグミ、シメ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、モズ、ジョウビタキ、キセキレイ、セグロセキレイ、カシラダカ、メジロ、ムクドリ、ノスリ、ヒヨドリ、マガモ、オオバン、アオサギ、トビ、コゲラ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ハイタカ、ハクセキレイ、アオゲラ、ウグイス、ヤマガラ、スズメ、キジバト (28種)

家禽 アヒル又はアイガモ (アヒルとマガモの交雑個体)

参加者 9名

新林公園の山道を歩く会

1月9日(火) 9:10~12:30 晴れ
森 静子

2年ぶりの参加でした。10人程の仲間とゆっくりと山越えることができ、また期待以上の鳥に出会え楽しい時間を過ごすことができました。冒険広場でアオジを見つけ幸先よい散策が始まりました。ゆっくりと両側の樹木や植物を眺めながら歩いていると、先頭の方が「シメ」を見つけ皆で釘付けになり、展望台近くに行くと「エナガ!」の声。そこへシジュウカラ、メジロも来てくれ楽しみました。途中の休憩所ではカワラヒワ、メジロも見られ、更に進むとコゲラがよく見えました。今日は私達のために出てきてくれたのか

と思う程可愛い鳥に出会えました。風もなく最高の日和で写真を撮った方も見せ合い、和やかな雰囲気の中探鳥会は終了しました。またこのような機会に巡り会えることを期待して。



シメ (食事中) 撮影: 稲田久



メジロ (食事中) 撮影: 稲田久

見聞きした鳥 メジロ、コゲラ、エナガ、シジュウカラ、ヒヨドリ、トビ、ヤマガラ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバト、アオジ、シメ、ウグイス、カワラヒワ、シロハラ、アオサギ、モズ、カワセミ、カルガモ、チョウゲンボウ (21種)

外来種 ドバト、ガビチョウ (2種)

参加者 10名

2月13日 (火) 9:00~12:25 快晴

大橋 温子

今日は晴れて3月並みの気温との予報だったが、それでも首元には冷気を感じながら歩き出す。冒険広場でアオジの♂と♀に出会う。その♂の黄色い胸が美しい。その後展望台へと進むが、その頃には強い南風が吹き始め遠くの海には白波も見えた。風の音が辺りに響き渡るので残念ながら鳥の声もよく聴けず、まして小鳥の姿はほとんど見られない。

そんな中、気になったことがある。散策を楽しむ人の安全を思ってか、あまりに公

園整備が行き届きすぎて、山道両側沿いの樹木には無残にも折られたまま取り残された多くの枝が目立ち、その有様は痛々しかった。そして以前は下草が多く茂り鳥たちの格好の隠れ場所となっていたはずの所が広く刈り込まれ、春を迎える準備をしているだろう山野草の姿もあまりみられなかった。多様な自然の姿を楽しみに歩いている



ウグイスカグラ 撮影: 田中正信

身には寂しい光景だった。しかし何事にも両面があるようだ。今まで元気のなかったウグイスカグラの木が、周辺の林の環境が変わり以前より明るくなって見違えるほど多くの花を咲かせ、小さな葉を一杯つけていた。嬉しかった。人の手が入り明るくなった場所には今迄眠っていた新しい種が芽をだし、地上に姿を現すかもしれない。人が公園の自然環境をどのように保ち整えるのがよいのか、その難しさを改めて考えさせられた半日となりました。

見聞きした鳥 アオジ、トビ、ダイサギ、ヒヨドリ、ヤマガラ、キジバト、モズ、アオサギ、ウグイス、カルガモ、ジョウビタキ、カワウ、メジロ、ハシブトガラス、コゲラ、シジュウカラ、ハシボソガラス、ノスリ、ハクセキレイ、スズメ (20種)

外来種 コジュケイ、ドバト、ガビチョウ
(3種)

参加者 10名

日帰りハクチョウ類探鳥会

1月28日(日) 10:12~15:30 晴れ

藤山 素子

上野東京ライン乗車中、鈍い陽光だったが北上するにつれ晴天になり、風もなく最高の観察日和となりました。



オオハクチョウの行進 撮影：田中正信

多々良沼に入る手前の農地でタヒバリ、ヒバリを確認、沼に着くと早速オオハクチョウが比較的近くで見られ、少し遠くにミコアイサ、左手にはツグミ、シメ！と足取りも遅れがち。今回は昨年よりハクチョウ数が多く

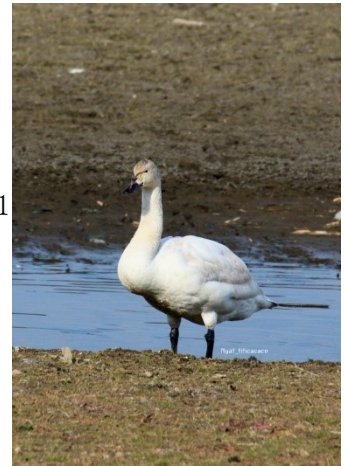
(1月22日公表161羽)、距離もさほど遠くなく、何を話しているのかコオー、コオーと大きな鳴き声、時には飛翔の美しい形も見られました。



オオハクチョウの飛翔 撮影：田中正信

1羽のカモメを発見、地元の方から黄色い足のニシセグロカモメ、また、嘴の黄色い部分が少ない個体はアメリカコハクチョウと教えていただく。弁天島ではヒドリカモの群れの中に、アメリカヒドリの特徴である目の後方が緑色の部分がある個体も観察、同じ群れの中にはハマシギも！ コウノトリは見られなかったが昨年も見られたマガン1羽を確認。

ガバ沼ではたくさんのオナガガモの群れが見られ、そこへ近くの木にとまっていたオオタカ



アメリカコハクチョウ
撮影：太田千佳子



マガン 撮影：太田千佳子

が水面低く飛び降り、カモたちは一瞬慌てたが狩りをする様子なく、今回は犠牲もなく安堵。

オオタカで今日は締と思いきや、帰路に目の前の住宅のフェンスから突如キジ雄が隣地草地に飛び降り、一同びっくり！これが藤沢近辺ではなかなか会えない鳥たちにも出会

うことができた、盛りだくさんの今日の探鳥会の締めとなりました。全体を通して、藤沢とは比べ物にならないツグミ、シメ、タヒバリの多さが印象に残りました。

見聞きした鳥 オオハクチョウ、スズメ、メジロ、シメ、シジュウカラ、エナガ、ハマシギ、オオバン、モズ、ジョウビタキ、ウグイス、ツグミ、オオタカ、ムクドリ、アメリカコハクチョウ、コハクチョウ、タヒバリ、マガン、カルガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、コガモ、マガモ、キンクロハジロ、ヒバリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、カイツブリ、カワウ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ミヤマガラス、ミコアイサ、ニシセグロカモメ、カワセミ、カケス、ヒヨドリ、アオジ、ノスリ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、トビ、コゲラ、ホオジロ、キジ、アオゲラ (49種)

参加者 8名

番外・新横浜公園探鳥会 「ミコアイサに会いたい！」

この探鳥会は四季報 266 号原稿締め切り後に発案され、その後に予定されていた探鳥会が雨天中止となり、皆様に広報が行き届きませんでした。お詫び申し上げます。

2月10日(日) 9.35~14:10 晴れ
コース：JR 鴨居駅→新横浜公園→小机駅

加藤 健二

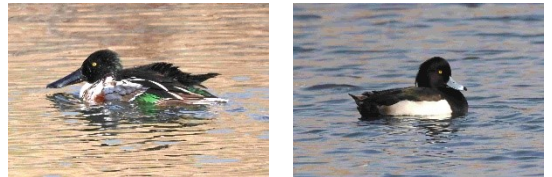
探鳥クラブに参加させて頂いて1年が過ぎました。諸先輩方にご指導頂き、野鳥観察の仕方がようやく分かってきたかなと思っています。今回、ミコアイサに会うのが主な目的の探鳥会でしたが、私はNHKの番組で鶴見

川での野鳥の紹介を見ており、オオタカ、チヨウゲンボウに会えると期待して参加させていただきました。

鶴見川は幅が広く、水もきれいで、いきなり色々な種類のカモ、バンなどに出会えてビックリでした。地元の方に聞くと昔は工場の排水などでひどく汚い川だったそうです。



鶴見川のヒドリガモ集団飛行 撮影；稲田久



ハシビロガモ♂(左) とキンクロハジロ♂ 撮影；稲田久

目的の新横浜公園へたどり着いた時はくたくた状態で、遅い昼食を食べていたら、ミコアイサが見えるという皆さんの行動を察知し



パンダ顔のミコアイサ♂ 撮影；加藤健二

て急いで大池に駆け寄って、パンダの顔に似た写真を撮ることができ、さらにノスリが建物の上に止まっていて移動のために飛ぶところも撮れて、はしゃぎまくりのクライマックスでした。ミコアイサは冬に見ることができ

る野鳥で私は初めての出会いでしたが、漢字だと「巫女秋沙」、和名ミコはオスの全身が白く、これが巫女の白装束のように見えることに由来するそうです。今日もいっぱい野鳥の姿を観察でき、感謝いたします。



ミコアイサの♀(左)と♂ 撮影; 太田千佳子

見聞きした鳥 ミコアイサ、ヒドリガモ、イソシギ、カワウ、メジロ、カルガモ、オカヨシガモ、ジョウビタキ、ヨシガモ、オオバン、バン、ムクドリ、シジュウカラ、カワラヒワ、アオジ、キンクロハジロ、コガモ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ツグミ、カンムリカイツブリ、カイツブリ、ダイサギ、モズ、コサギ、スズメ、ウグイス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、カワセミ、キジバト、アオサギ、イソヒヨドリ、ハシブトガラス、ノスリ、オナガ、セグロカモメ、ハシビロガモ、ホオジロ、タヒバリ (41種)

外来種 ドバト(1種)

参加者: 14名 (担当: 藤山)

交雑カモ この探鳥会の鶴見川で見られたカモの写真です。手前2匹のヨシガモ♂♀の奥を泳ぐカモは、おしりと黄色い脚はオカヨシガモ、首からはヨシガモ♂(緑と赤紫色が薄いですが)の特色を有しています。日本野鳥の会神奈川支部ベテランの方にお尋ねしたところ、ヨシガモとオナガガモの交雑個体で



交雑カモ 撮影; 田中正信

あることがわかりました。(田中正信)

運営委員会報告

下記の議題について討議されました。

1月7日 四季報 266、267、行事予定、総会予定、境川遊水地探鳥クラブについて、他

2月4日 四季報 267、268、行事予定、総会予定、四季報サイズ変更、来年度予算案、運営委員候補者、探鳥クラブの方向性、他

2023年12月

ユリカモメカウント結果報告

日時 2023年12月23日(土) 晴れ

各区間下流側 10:00 スタート

参加者 13名

	区間数	カ モ メ	ユ リ	カ ワ ウ	オ バ ン
境川	8	19	4	96	
柏尾川	2	0	3	58	
引地川	6	102	2	30	
計	16	121	9	184	

◎寒い中のカウントをありがとうございます。

2024年1月

ガン・カモカウント結果報告

◇ 引地川河口→大庭城下橋

	1回目	2回目
	1月13日	1月19日
	8:50~13:30	8:55~11:40
	晴れ	晴れ
カルガモ	33	46
マガモ♂	1	2
マガモ♀	1	1
コガモ♂		1
コガモ♀		2
ホシハジロ♂		1
ホシハジロ♀		1
カワウ	76+	3
オオバン	29	31
参加者	6	1

◎寒い中のカウントをありがとうございました。

◇ 片瀬漁港→鵜沼海岸引地川河口

	1回目	2回目
	1月15日	1月22日
	9:30~11:30	9:50~11:30
	晴れ	晴れ
ホシハジロ♂	1	1
ホシハジロ♀	2	1
カワウ	11	32 ※他(130+)
オオバン	4	
カンムリカイツブリ	4	4
参加者	1	1

※漁港東側

会員の声

強風の後の海岸で

(文と写真提供) 藤山 素子

2月14日(水)、昨日からの強風で海鳴りが続いていた朝9:00頃、引地川河口辻堂海岸砂浜上で写真の鳥の死体が見られました。



写真で日本野鳥の会神奈川支部の方に種名をお尋ねしたところ、嘴の形状からアビよりオオハム系に見える、顔の白い部分がオオハムより小さく、嘴の横と下尾筒に黒い線が見えることから「シロエリオオハム」と判断していただきました。

行事等案内

川名通年探鳥会

毎月第一日曜日 ※雨天中止

4月7日(担当:橋本)

5月5日(担当:藤山)

集合 8:00 JR藤沢駅南口名店ビル前
地下道入り口付近

江の島探鳥会

毎月第2金曜日 ※雨天中止

3月8日(金) 4月12日(金)

集合 8:30 解散 12:00頃

集合場所 江の島弁天橋を渡った左の公園
藤棚の下

連絡先 谷 0466-34-0381

遠藤笹窪谷観察会

3月23日(土) 9:00~12:00

集合時間 9:00 ※雨天中止

集合場所 慶應大学バス停

連絡先 谷 0466-34-0381

新林公園の山道を歩く会

毎月第2火曜日 ※雨天中止

3月12日(火) 4月9日(火)

集合 9:00 新林公園パーゴラの下

解散 12:00頃 同上

連絡先 橋本孝 0467-85-6077

◇ 死亡野鳥の連絡に協力しましょう！ ◇

ご協力ください

死亡した野鳥を 見つけたら

県では、高病原性鳥インフルエンザの発生に迅速に対応するため、死亡野鳥等調査を実施しています。

同じ場所でたくさんの鳥が死亡している等、高病原性鳥インフルエンザが疑われる時は、県で検査を行う場合がありますので、下記連絡先までお知らせください。

連絡の必要がない場合

下記の「連絡の必要がある場合」以外(スズメ・ハト・カラスが1羽死亡している等)は、連絡の必要はなく、死亡した野鳥は、各市町村のごみ分別収集方法に従って処分いただいで構いません。

連絡の必要がある場合

- 同じ場所でたくさんの鳥が外傷なく死亡している
- 猛禽類(ワシ・タカ・フクロウ等)や水鳥(カモ・ハクチョウ・カイツブリ等)が外傷なく死亡している
- その他、周辺の状況から異常と考えられる場合

※野鳥は、体内や羽毛などに細菌や寄生虫などの病原体があることがあります。死亡した野鳥は素手で触らないでください。
※野鳥は、餌が採れずに衰弱死したり、環境の変化に耐えられず死んでしまうこともあります。野鳥が死んでいても、直ちに鳥インフルエンザを疑う必要はありません。
※鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との密接な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常においては、鳥の排泄物等に触れた後は手洗いとうがいをしていただければ過度に心配する必要はありません。

藤沢市内で発見したら

連絡先 : 湘南地域県政総合センター環境部環境調整課 (0463) -22-2711 (代表)

◎ 記載の行事はどなたでも申し込み不要でご参加いただけます。

初めての方、非会員の方のご参加をお待ちしています。

入会のご案内

藤沢探鳥クラブでは皆様のご入会をお待ちしています。お問い合わせ、お申し込みは右の連絡先まで。

年会費について

年会費（4月～3月）は2,400円です。

会費振込先；郵便為替口座番号

00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ

郵便局以外の銀行から振り込む場合は、

ゆうちょ銀行 029店 当座 0038355

フジサワタンチョウクラブ

探鳥会時に現金払いでも受け付けています。

藤沢探鳥クラブ連絡先等

藤山 素子 0466-25-1817

motoko-f@jcom.home.ne.jp

HP アドレス ; <https://fujsbwc.jimdofree.com/>



ホームページのQRコードです。スマホなどから読み取ってご覧ください。

投稿先は下記の通りです。皆様のご投稿をお待ちしています。（田中）

田中 正信（原稿・添付写真）

〒251-081 藤沢市鵜沼藤が谷 4-13-26

e-mail ; tanamasa@theia.ocn.ne.jp

電話/FAX 0466-27-2384

青山 喜行（表紙写真・説明文）

〒252-0816 藤沢市遠藤 930-5

e-mail : aoyama-y@jcom.home.ne.jp

2024 年度総会および懇親会開催のご案内

日時：2024年4月7日（日） 10:30～12:50

8:00～10:00 川名通年探鳥会後（雨天時探鳥会は中止）

場所：藤沢市民会館第2会議室（2F）

議題：1. 2023年度事業報告 2. 2023年度会計報告

3. 2024年度事業計画 4. 2024年度予算案

5. 2024年度運営委員・会計監査選出

6. 報告事項：四季報サイズ変更の件

懇親会：会員からのご意見やご提案等

万象お繰り合わせの上ご参加くださいますよう、ご案内いたします。